

2014 年度

大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び
人間科学部卒業生の生活と意識に関する調査結果

2015 年 3 月 25 日 実施

回収数 134 (卒業・修了者計 223 名)

(アンケート用紙は末尾に添付)

大阪大学大学院人間科学研究科 評価委員会

このアンケート調査は、本学部卒業生および本研究科修了生の在学中の生活と意識を明らかにするために行われた。アンケート用紙は平成 26 年度卒業式当日(2015 年 3 月 25 日)、人間科学部本館 51 教室で開催された学位授与式において式の出席者に配布され、室内で記入、退室時に回収された。

アンケートは学生自身、学生生活のこと、大学教育や学生支援、本学部・研究科に関する事項等、23 の質問項目から構成されている。

以下、アンケートの設問順に各問の集計結果を図表で示す。

問 1. 性別

表 1 回答者の性別

	人数	%
1. 女性	71	53.0
2. 男性	63	47.0
計	134	

問 2. 卒業、修了の内訳

表 2 回答者の卒業・修了内訳

	人数	%
1. 人間科学部	94	70.1
2. 大学院人間科学研究科 博士前期課程	33	24.6
3. 大学院人間科学研究科 博士後期課程	7	5.2
計	134	

問 3. 所属学科目／学系

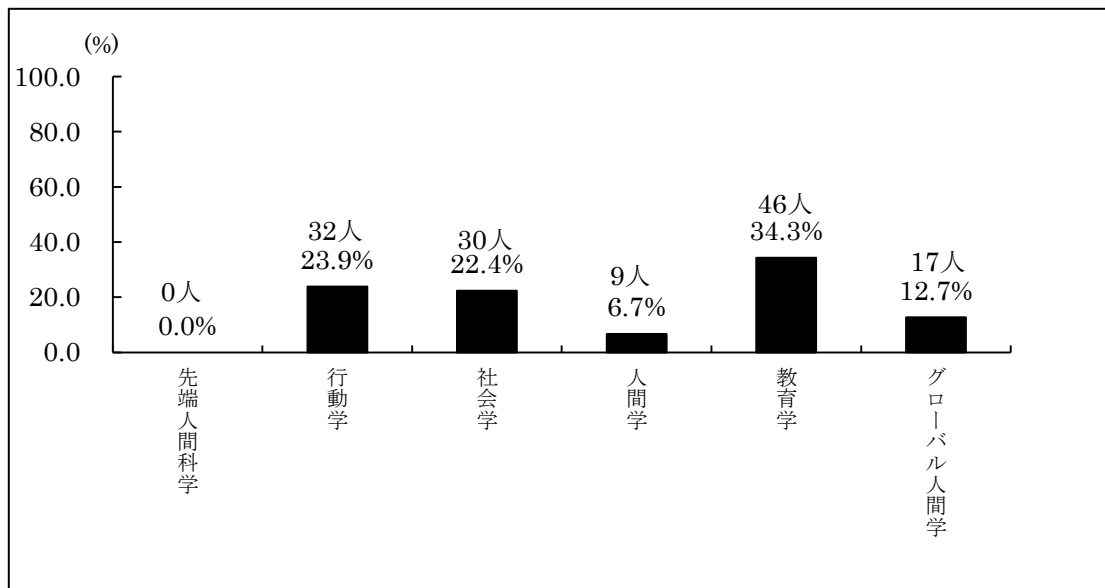


図 1 所属各科目／学系の内訳

問 4. 卒業・修了後の進路

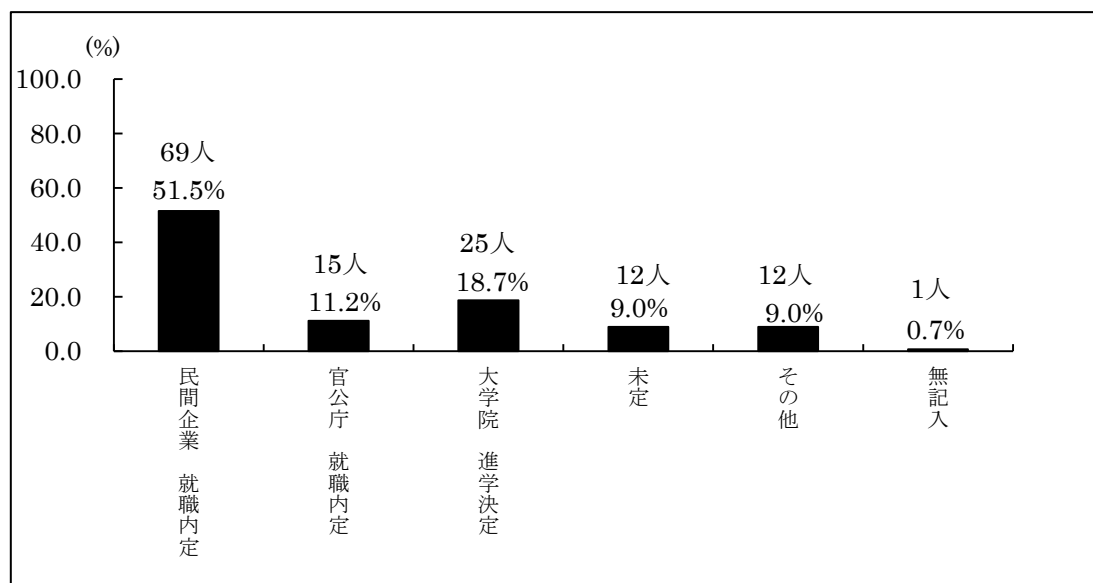


図 2 卒業・修了後の進路

学生生活または院生生活について

問 5. 学科目を定める時の情報について (学部卒業生のみ)

表 4 学科目の情報について

	人数	%
1. 十分与えられた	39	41.5
2. まあ与えられた	53	56.4
3. あまり与えられなかった	2	2.1
4. 全然与えられなかった	0	0.0
計	94	

問 6. 学科目の選択理由 (学部卒業生のみ/複数回答可)

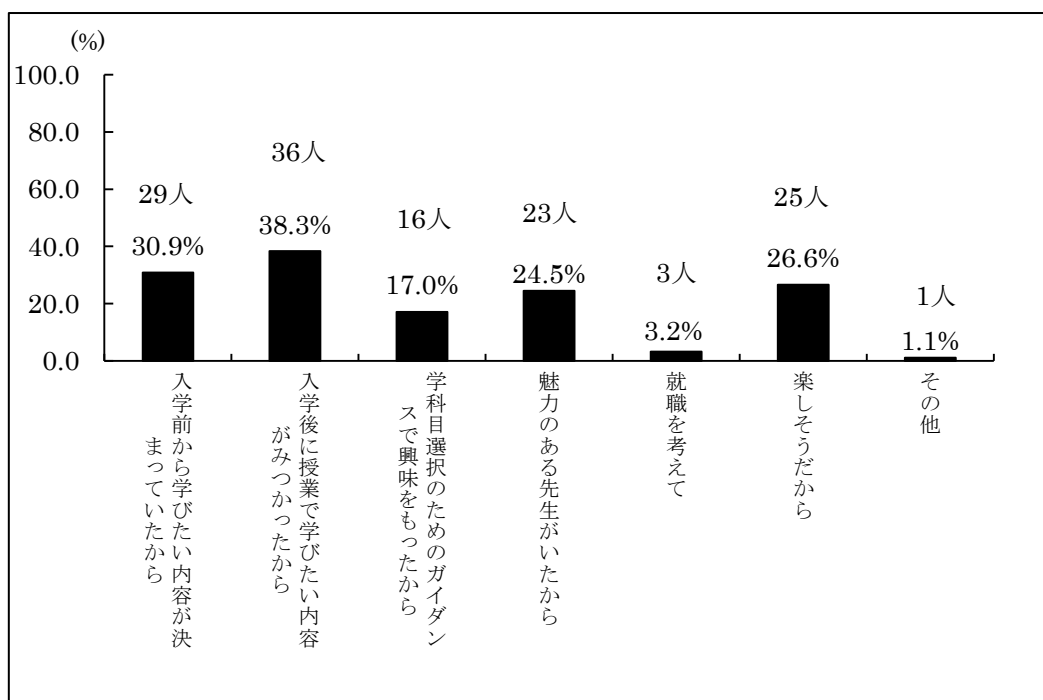


図 3 学科目の選択理由について

問 7. 学生（院生）生活で力を注いだ活動事項について

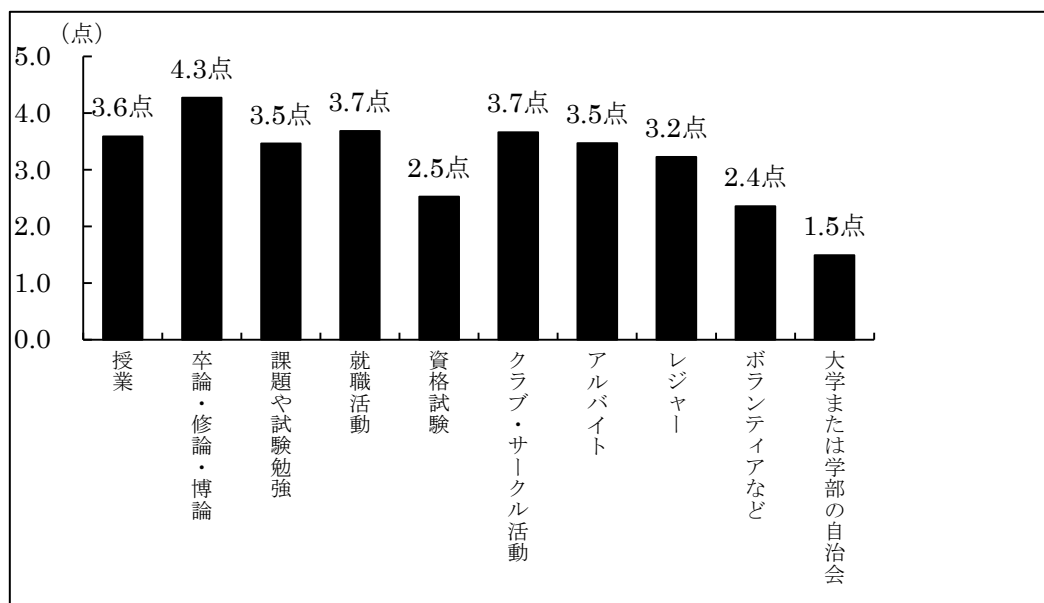


図 4 学生（院生）時代に力を注いだ活動事項

図 4 は学生／院生生活における 10 の活動事項に関して、それぞれの程度力を注いだかについて評定を求めた結果の平均値である。「非常に力を注いだ」を 5 点、「まあ力を注いだ」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「あまり力を注がなかった」を 2 点、「力を注がなかった」を 1 点とした。平均値が高いほどその活動に対し力を注いだと評定されたことを意味している。

全学共通教育（豊中キャンパス）のカリキュラムについて

問 8. 「専門基礎教育科目（統計学 A・I、数学 A・B）」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

問 8 は編入生を除く学部卒業生のみが回答。該当者は 88 名。

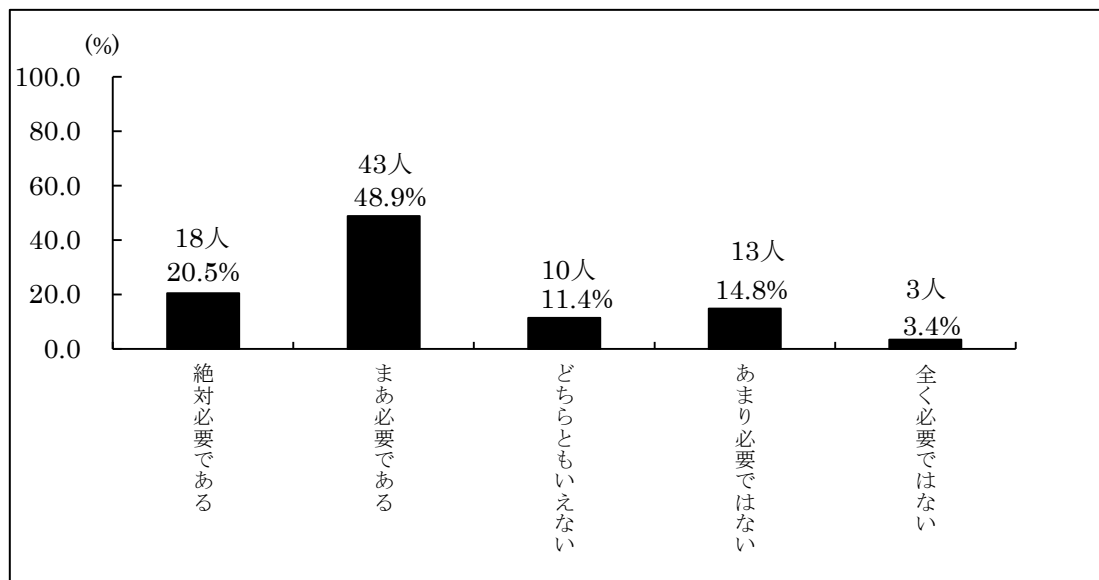


図 5 「専門基礎教育科目」の必要性について

専門課程（吹田キャンパス）のカリキュラムについて

問 9. 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについて

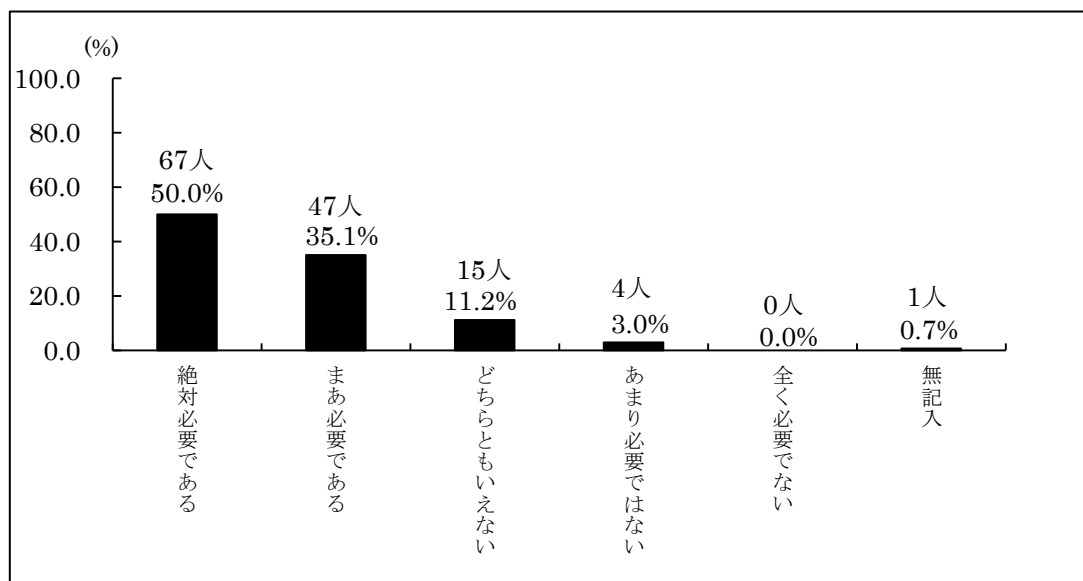


図 6 卒業論文または修士論文について

問 10. 本学部または本研究科で身に付いたこと（複数回答可）

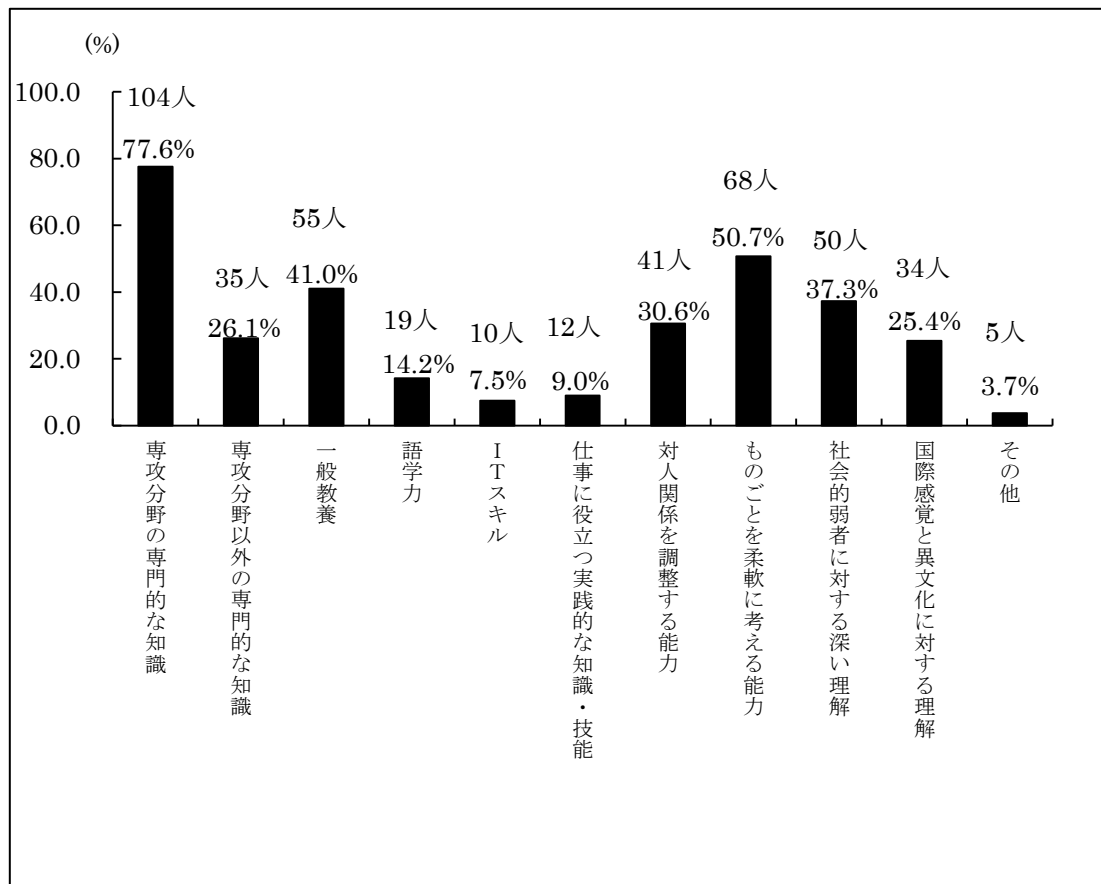


図 7 身に付いたことについて

問 11. 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うこと（複数回答可）

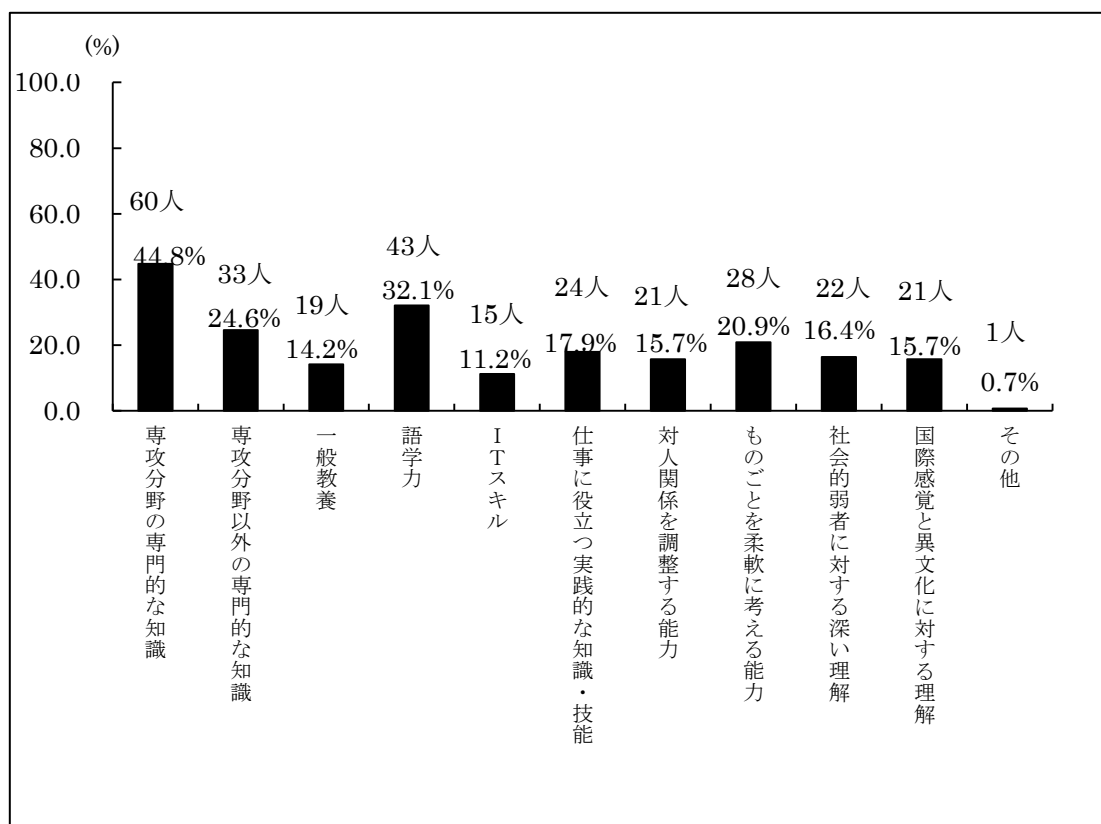


図 8 もっと身に付けられると良いことについて

インターンシップについて

問 12 .在学中、インターンシップに参加した状況

表 5 インターンシップ参加状況

	人数	%
1. 参加した	44	32.8
2. 参加しなかった	86	64.2
無記入	4	3.0
計	134	

問 13 参加した学年（参加した学生のみ／複数回答可）

問 13 はインターンシップに参加した人のみ回答（該当者 44 名）。

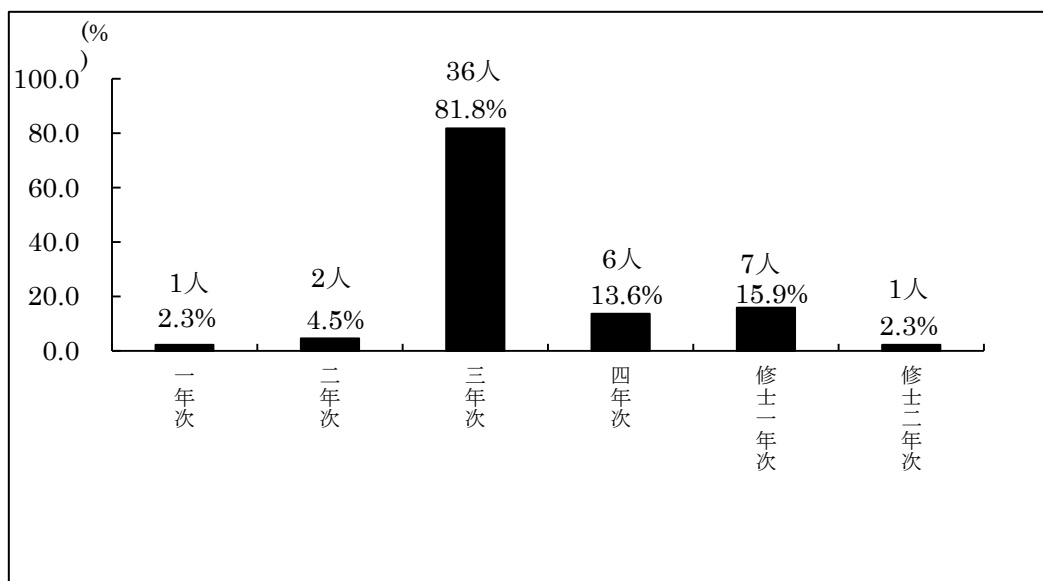


図 9 参加した時期について

就職活動について

問 14～17 は就職活動をした人のみ回答（該当者 92 名）。

問 14 .就職活動にあたって、役に立った（重要だった）ものを順に2つ選んでください
（就職活動した学生のみ／2項目選択）

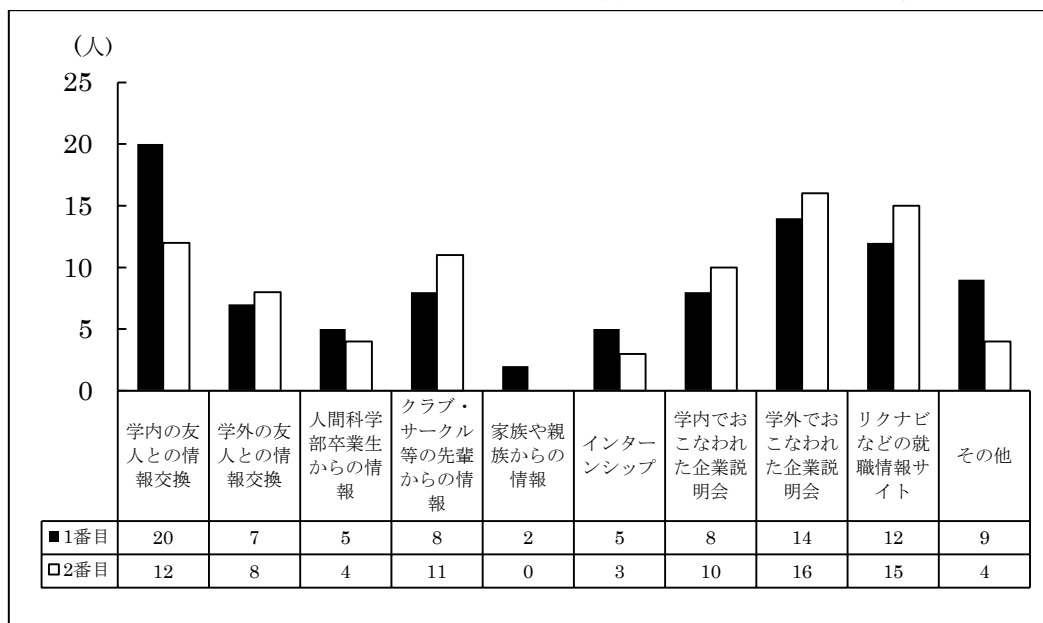


図 10 就職活動で役に立ったものについて

図 10 は就職活動における 9 の事項に関して、役に立った（重要だった）順に 2 つ選択してもらいグラフ化したものである。事項ごとに、黒の縦棒は 1 番目に選択、白の縦棒は 2 番目に選択した人数を示し、数を表記している。

問 15 .就職活動が一番忙しかった時期（就職活動した学生のみ）

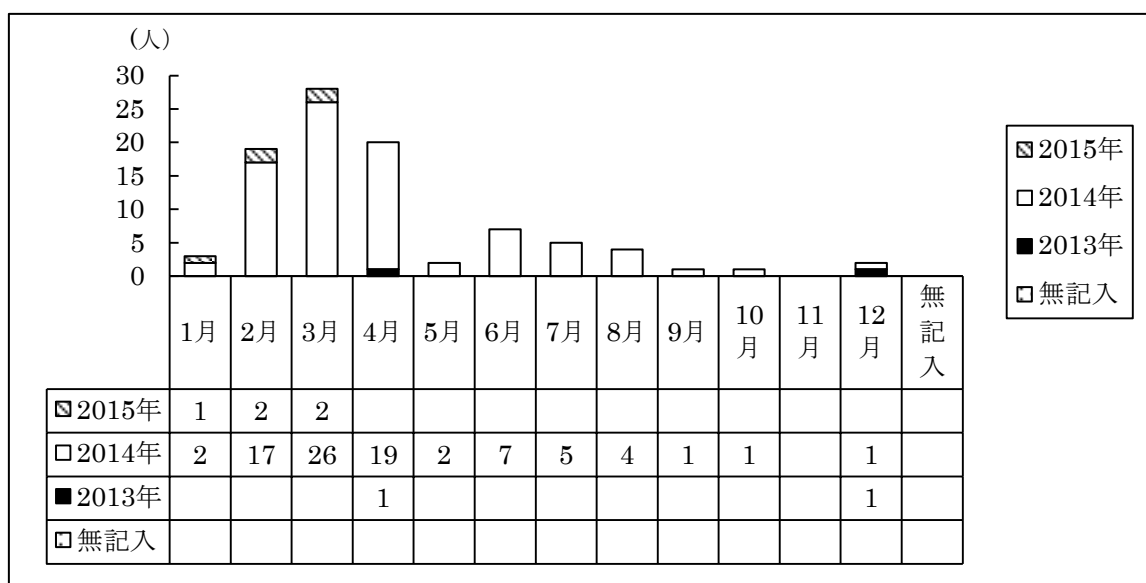


図 11 就職活動で忙しかった時期について

問 16 .就職活動と学業の両立に困難を感じたか（就職活動した学生のみ）

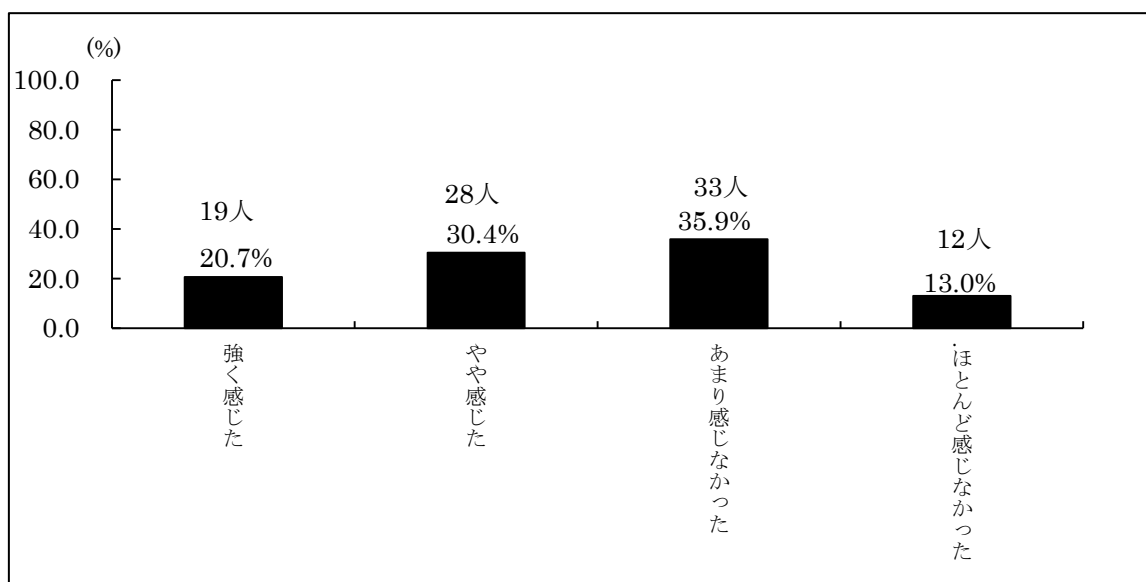


図 12 就職活動と学業両立の困難について

就職活動・進路指導・学生支援に対する要望について

問 17・18 は自由記述欄に記入された内容を記す。

問 17.就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学部・本研究科に希望する支援について

回答者 17 名

説明会・支援等についての要望

- ・交通費支給。
- ・自分の事を魅力的に話すことができるトレーニング。
- ・面接訓練（もっとたくさん）。
- ・学割を PDF でダウンロードできるようなシステムがあればよいと思う。
- ・メンタルヘルスに関する相談窓口の充実。
- ・面接練習、GW 練習をもっと・・・。
- ・早い時期からのセミナーとその告知。セミナーが参加しやすい場所、時間であればより利用しやすかった。
- ・就職活動の進め方のガイダンス。
- ・交通費の支援、宿泊施設の情報。
- ・情報共有。
- ・情報を豊富にしてもらいたい。
- ・入りやすい就職課（相談）（キャリアセンター）。
- ・大学は就職予備校ではないので、特に支援は不要かと思います。
- ・求人情報の提供など。
- ・中小企業についての情報。
- ・会社からの情報。
- ・基本にお知らせが少ない。
- ・公務員試験に関しては、生協のフォローがあったので特にはないです。
- ・インターンシップを充実させる（特に国際協力の Field における）。
- ・交通費や宿泊費等、就職活動費の支援及び、それに準ずるもの。
- ・地方公務員試験に関する情報がもっと得やすくなると良いと思う。
- ・ES 添削の機会をもっと増やしてほしい。
- ・強制的なセミナーなど。
- ・交通費支援。

OB・OG についての要望

- ・先輩の情報。
- ・OB・OG とのつながり（経済学部の同窓会 ECOCA のような団体）。

- ・OB・OG との交流会。人のつながりが広げられるような機会が欲しい。
- ・OB・OG などを学内に呼んで、学生と近く話せる機会をもっと設けたらいいと思います。
- ・内定者やOBの方の話を直接聞ける場をもっとあればいいなと思った。
- ・人科のOB・OGの方の話を聞きたい。

その他の要望

- ・研究職の就活に限りますが、研究室間での教員・院生がもつ人的ネットワークなどの資源にバラつきがあるように感じました。研究室や学系を超えて、より気楽に就職について院生が教員や他の院生と相談できる環境があってもいいかもしれないと感じました。
- ・公務員志望の学生の横のつながり。
- ・公務員試験のテキスト(勉強用)の存在があるなら、その周知。ドクター向けの情報。

問 18 .就職活動以外の面で、本学部・本研究科に希望する支援について

回答者 18 名

- ・ITについての知識サポート。
- ・ボランティア参加のあっせんなど、見聞を広めるための機会を早くに提供する(案)。
- ・インターンシップの情報を多く。
- ・資格を取るための授業があれば、受講していた。
- ・ヒューズの部屋を公共のものとする。
- ・大学院生(修士・博士ともに)返還不要の奨学金支援があると、大きな生活の支えになる。
- ・論文の書き方の基礎を教える支援。
- ・留学生ともっと交流する機会。
- ・学会参加時の交通費、宿泊費などの一時立替など、申請がもうちょっと楽だと良い。
- ・メンタル面全般。
- ・論文、生活チューター。
- ・必要単位を詳しく教えてほしい。
- ・現状で不満はありませんでした。
- ・単位の計算をしてくれるシステム。自分だけでは不安が残る。教務もあまり協力的でなかったことは非常に残念だった。
- ・KOAN で残りの卒業要件を表示する支援。
- ・外国人就職・進路指導。
- ・書類提出などに関する情報。学部内での連絡メーリングリストがあればうれしいです。

- ・教務係にきいても、学生センターへ行ってくださいという回答が多く、その場で解決しなかった。
- ・支援は充実しているが、大学まで足を運ぶのが負担だった。そのため、梅田等に支援室等があればいいと感じた。
- ・奨学金の情報。
- ・授業料免除、奨学金の充実。
- ・もっと基礎的な社会学の理論を学ぶ機会が多く用意されているほうが良いと思います。
- ・分野に関するボランティアなどの募集。
- ・単位計算。
- ・留学（短期・長期）のサポート。
- ・資格の授業。
- ・SPSS を学部生も自分のPCで自由に使えたらよいと思います。
- ・留学。

本学部または本研究科に対する総合的な意見について

問 19 .総合的に判断して、本学部・本研究科は満足できるものでしたか

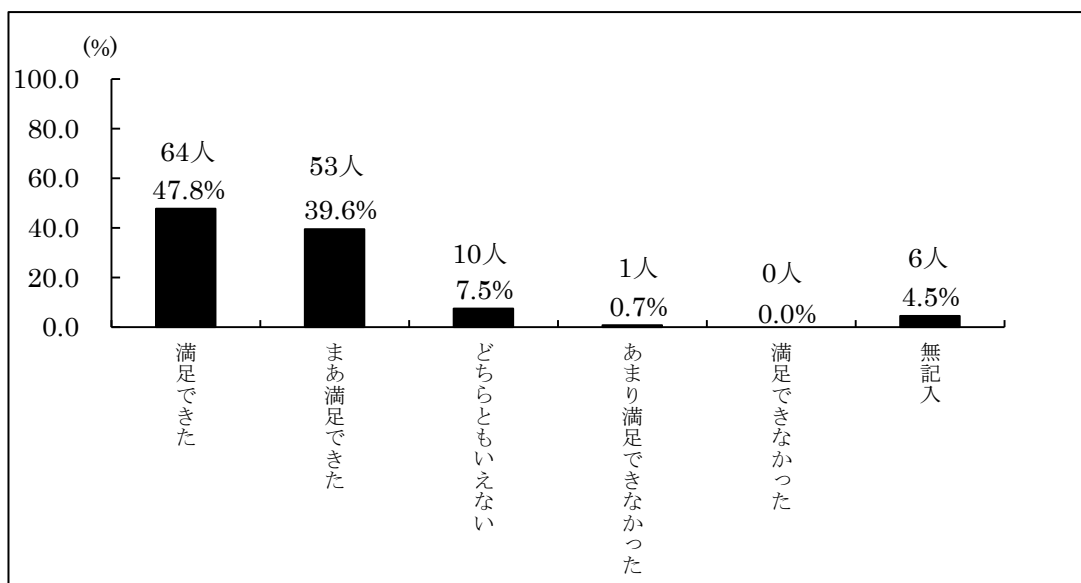


図 13 総合的な満足度について

問 20.本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は満足できるものでしたか

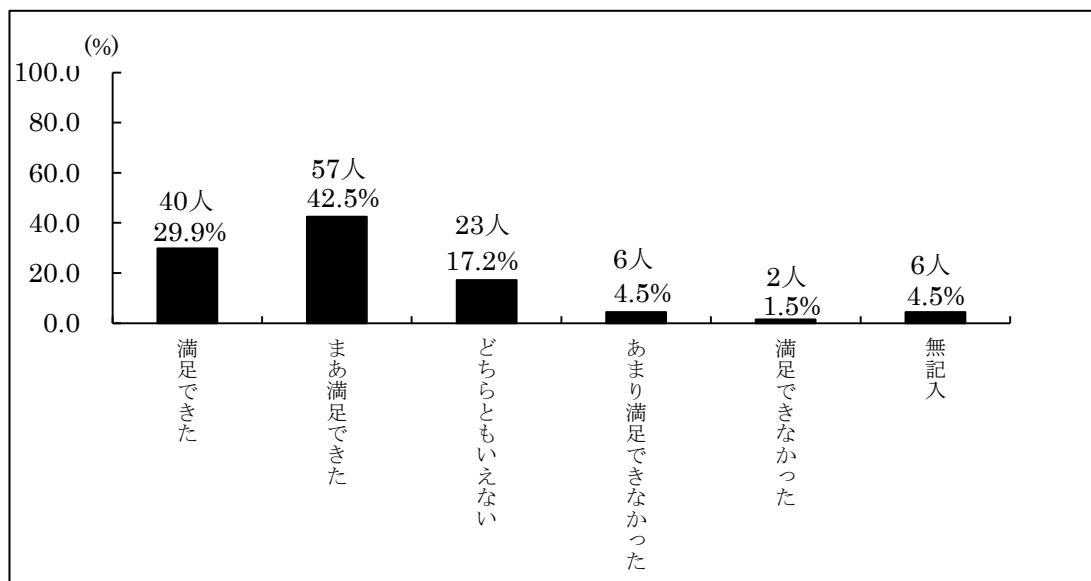


図 14 施設・設備の満足度について

問 21.本学部・本研究科キャンパスサポート面は満足できるものでしたか

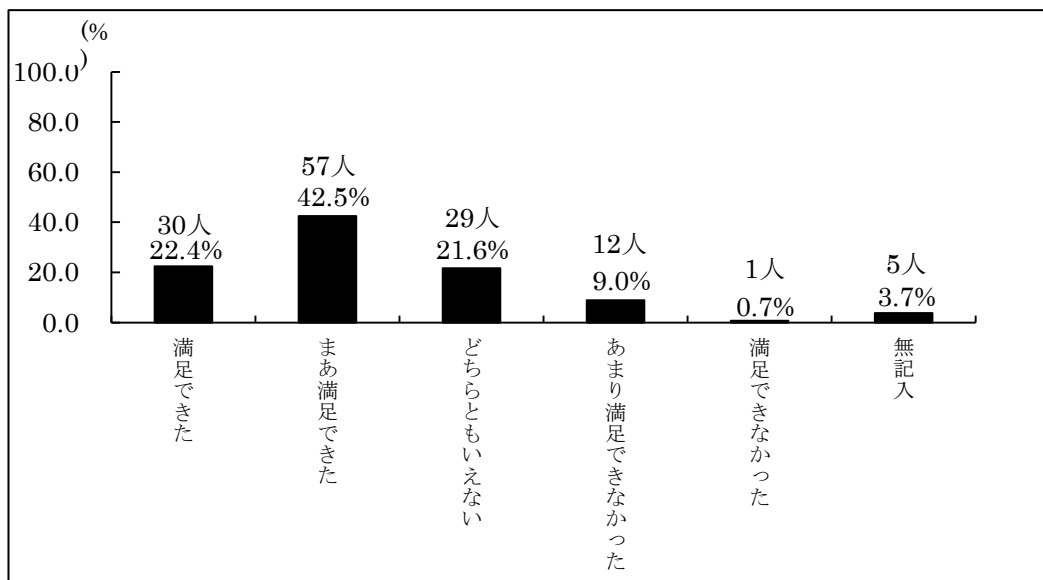


図 15 サポート面の満足度について

問 22・23 は自由記述欄に記入された内容を記す。

問 22 .本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・サポート面で改善して欲しいこと

回答者 22 名

施設・設備についての要望

- ・再履バスの屋根をもう少しスペース広くとって欲しいです。
- ・図書室に、入門書的な書籍をもう少し置いてほしい。
- ・図書室の 24 時間開館。
- ・節電と称してジェットタオルと音姫の電源を落とさないでください。
- ・図書サービスの統一化。移転作業に学生を動員するな。（実際は動員しないという建前は守られなかった。あるいは「バイト代」ぐらい出すべきだ。）
- ・研究室に属していない人でも気軽に使えるパソコンが欲しい。
- ・図書室をもっと快適にしてほしい。できればどこでも Wi-Fi がつながるようにしてほしい。
- ・院生室のパソコンが古くて遅いです。新しいものをいれかえたらいいです。
- ・図書館をもっと長くあけて。
- ・図書室の開室時間。
- ・常に工事をしていてうるさかった印象しかないなので、工事しないでください。
- ・東館 3F の男子トイレが 1 年以上壊れたままです。
- ・コンビニが近くにあれば、もっと嬉しいです。
- ・図書館の開室時間を長く。土曜ぐらいは開けてほしい。
- ・交通の便の改善（阪急の駅誘致など）。
- ・人間科学部棟に学食もしくは売店があれば。
- ・コピー機、学生室を増やすこと。
- ・学食の改善。
- ・館内に観葉植物を配置してください。館内の雰囲気は暗い。
- ・TA/RA 予算の増加。
- ・1 階の交流スペースのキッチンが使用できるようになれば良いと思う。
- ・図書館の開放時間をより長くしていただきたい。パソコン利用可能なところは、Printout が可能だと大変助かります。
- ・図書館をより長時間開放してほしい。
- ・食堂を作ってほしい。
- ・図書館でもっと容易に印刷できるとよい。
- ・教育事務室の開館時間をもう少し長くしてほしいです。
- ・東館をもう少しきれいにしてほしいです。

サポート面についての要望

・女性の博士号取得者増が、これからの研究者支援として目指される課題と思います。そのために現在阪大が実施している女性研究者への各種支援制度を学部生にまで適用範囲を広げてほしいと思います。

- ・KOAN で残りの卒業要件を判定してほしい。
- ・就活に役立つ情報の提供が不足している。
- ・教務係・会計係・学生支援室の対応。
- ・子育て支援、設備の充実→授乳室、おむつ替え台 etc、女性院生、育児院生を支える設備、サポートを充実させていただきたいです。
- ・過去の卒論の持ち出し可能時間が短すぎる。

問 23 .本学部・本研究科に対する意見・感想について

回答者 23 名

・建物内に授乳・保育に使用できるスペースを学生、研究者支援の1つとして設置してほしい。ロールモデルとして、教授職、事務職では管理職の女性割合を大幅に上げてほしい。

- ・充実した4年間を送らせていただき、感謝の念でいっぱいです。
- ・トイレがキレイでうれしかったです。
- ・社会学系に研究室を下さい。切実です。
- ・4年間お世話になりました！ありがとうございました！
- ・4年間楽しい学生生活を送ることができました。素敵な学部だと思います。
- ・ありがとうございました。
- ・優れた研究者が本研究科に多く在籍しているので、その強みを活かして優秀な人を集め、よい人材を育て、素晴らしい研究成果を出すことができる研究科として、ますます御発展されるよう祈念しています。お世話になりました。
- ・専門的なことをもっと早くから学びたかったです。
- ・ありがとうございました。
- ・お世話になりまして、ありがとうございます。
- ・先生方が優しく、がんばらなくちゃと思えました。もっと早く学問に目覚めたかった。
- ・長くて短い期間ではありましたが、色々お世話になり、ありがとうございました。
- ・パンキョーが長すぎる。
- ・グローバル社会において、国際的視野に取り込んでいることは、すごく重要だと考えています。これからもこれらのことに力を入れていただければと思います。
- ・入学前から原付の入構証の申請が可能であってほしい。
- ・研究室間の交流がもっと多いと楽しくなると思う。
- ・人科を出られたことを誇りに思っております。

- ・楽しかったです。
- ・グローバル人間学と他の区別を埋めるように。
- ・お世話になりました。ご指導ありがとうございました。
- ・インターナショナルカフェの利用をもっと活発にしたいです。キッチンは使えるようになりますか？20:00以降も使用させていただきますか？
- ・授業料免除・授業料の減額。
- ・大学院受験時に情報を得るのがとても大変だったので、外部からの院入学・編入に対して情報開示がわかりやすくされると良いと思う。
- ・受験ぎりぎりに決めた志望大学、学科でしたが、今はここで4年間学ぶことができ良かったな、4年前の私の選択は間違いじゃなかったなと思いました。先生方や多くのサポートをしてくださった教務、事務の方々、本当にありがとうございました。
- ・やりたいことに何でもチャレンジできる環境がすてきだと思いました。4年間楽しかったです。ありがとうございました。



平成 27 年 3 月
大阪大学大学院人間科学研究科
大阪大学人間科学部
評価委員会・学生支援室

2014 年度

大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び 人間科学部卒業生の学生生活に関する調査

このアンケートは人間科学研究科・人間科学部を修了/卒業しようとする皆さんを対象に行うものです。皆さんが過ごされた院生生活/学生生活を振り返り、日頃感じていたことを率直にお聞かせください。皆さんのご意見は今後の教育課程・教育内容・就職支援等の改善に役立てます。

あわただしい中で恐れ入りますが、よろしく御協力ください。アンケートは無記名で行います。回答は統計的に処理され、回答者を特定する事はございません。なお、調査結果は集計後、人間科学研究科/人間科学部 ホームページに掲載致しますのでご覧ください。

回答は選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけてください。原則として○はひとつですが、質問によってはいくつでも○をつけられるものもあります。選択肢ではなく、空欄に記入していただく質問もあります。

回答したアンケートは退出時に出口で提出してください。



最初にあなた自身についてお教えてください。

問 1

1. 女性
2. 男性

問 2

1. 人間科学部 卒業
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程 修了
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程 修了

問 3

1. 先端人間科学 所属
2. 行動学 所属
3. 社会学 所属
4. 人間学 所属
5. 教育学 所属
6. グローバル人間学 所属

問 4

1. 民間企業 就職内定
2. 官公庁 就職内定
3. 大学院 進学決定
4. 未定
5. その他（具体的に： _____）

つぎに、あなたの学生生活または院生生活についてお教えてください。

→学部卒業の方は次の問 5 へお進みください。
大学院修了の方は問 7 へお進みください。

問 5（学部卒業生のみご回答ください）

あなたは学科目を決める時、十分な情報を与えられたと思いますか。

1. 十分与えられた
2. まあ与えられた
3. あまり与えられなかった
4. 全然与えられなかった

問 6（学部卒業生のみご回答ください）

学科目を選択した理由は、つぎのどれでしたか（〇はいくつでも）。

1. 入学前から学びたい内容が決まっていたから
2. 入学後に授業で学びたい内容が見つかったから
3. 学科目選択のためのガイダンスで興味をもったから
4. 魅力のある先生がいたから
5. 就職を考えて
6. 楽しそうだから
7. その他（具体的に： _____）

問 7 学生生活または院生生活の中で、あなたはつぎの活動について、それぞれどの程度力を注いでいま

	非常に力を注いだ	まあ力を注いだ	どちらともいえない	注がなかった	あまり力を注がなかった	力を注がなかった	該当しない
a. 授業	1	2	3	4	5	6	
b. 卒論・修論・博論	1	2	3	4	5	6	
c. 課題や試験勉強	1	2	3	4	5	6	
d. 就職活動	1	2	3	4	5	6	
e. 資格試験準備	1	2	3	4	5	6	
f. クラブ・サークル活動	1	2	3	4	5	6	
g. アルバイト	1	2	3	4	5	6	
h. レジャー	1	2	3	4	5	6	
i. ボランティアなど	1	2	3	4	5	6	
j. 大学または学部の自治会	1	2	3	4	5	6	

したか。

→学部卒業の方は次の問 8 へお進みください。

学部編入された方と大学院修了の方は問 9 へお進みください。

問 8（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）

「専門基礎教育科目」（統計学 A-I、統計学 A-II、数学 A、数学 B）はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問9 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについてどう思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問10 本学部または本研究科で身に付いたことは何ですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他
(具体的に：)

問11 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うことはどれですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他
(具体的に：)

つぎにインターンシップについてうかがいます。

問12 在学中、インターンシップに参加しましたか（自主開拓も含めてお答えください）。

1. 参加した
2. 参加しなかった

→参加した方は問13へお進みください。
それ以外の方は問14へお進みください。

問13（参加した方のみご回答ください）
いつ参加しましたか（〇はいくつでも）。

1. 一年次
2. 二年次
3. 三年次
4. 四年次
5. 修士一年次
6. 修士二年次

つぎに就職活動についてうかがいます。

→在学中に、就職活動をされた方は次の問14へお進みください。
それ以外の方は問18へお進みください。

問14 就職活動にあたって、役に立った（重要だった）ものを次の中から順に2つ選んで、番号を記入してください。

1 番目 () 2 番目 ()

1. 学内の友人との情報交換
2. 学外の友人との情報交換
3. 人間科学部卒業生からの情報
4. クラブ・サークル等の先輩からの情報
5. 家族や親戚からの情報
6. インターンシップ
7. 学内でおこなわれた企業説明会
8. 学外でおこなわれた企業説明会
9. リクナビなどの就職情報サイト
10. その他（具体的に：)

問15 就職活動が一番忙しかった時期はいつですか。

西暦

2	0		
---	---	--	--

 年

--	--

 月頃

問 16 就職活動と学業の両立に困難を感じましたか。

1. 強く感じた
2. やや感じた
3. あまり感じなかった
4. ほとんど感じなかった

就職活動・進路指導・学生支援に対する要望
についてうかがいます。

問 17 就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学部・本研究科にどのような支援があればよいと思いますか(特に、首都圏・地方での就職活動、公務員試験の準備に関する意見をお持ちの方)。

問 18 就職活動以外の面で、本学部・本研究科にどのような学生支援があればよいと思いますか？

本学部または本研究科に対する総合的な意見
についてうかがいます。

問 19 総合的に判断して、本学部または本研究科は満足できるものでしたか。

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 20 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は満足できるものでしたか。

例) 講義室・図書室・サイバーメディア室等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 21 本学部・本研究科の学生サポートは満足できるものでしたか。

例) 事務・学生支援・就職支援等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 22 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・学生サポートで、改善して欲しいことがあれば具体的に記入してください。

問 23 人間科学部・人間科学研究科に対するご意見・ご感想ございましたら、ご自由にお書きください。